(54) SEMICONDUCTOR DEVICE

(11) 61-99361 (A)

(43) 17.5.1986 (19) JP

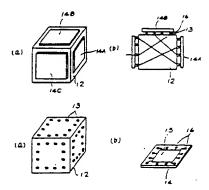
(22) 22.10.1984

(21) Appl. No. 59-221501 (71) FUJITSU LTD (72) SHINJI EMORI

(51) Int. Cl4. H01L25/04,H05K1/18

PURPOSE: To shorten the propagation time of a signal, by arranging a plurality of semiconductor chips on the surfaces of a polyhedron, providing signal transmitting paths between the chips in an approximately straight line shape, thereby shortening the maximum wiring length in comparison with the total area of the chips.

CONSTITUTION: As a polyhedron 12, a hexahedron comprising an insulating body made of ceramics and the like is used. Five chips 14A, 14B, 14C,... are mounted on the five surfaces. Bumps 13, which are connected to the chips, are provided on the five surfaces. With respect to the bumps 13, which are connected to the other chips, straight holes are provided up to the position of each bump on the mounting surface beforehand. Both bumps are connected by wire. With respect to the chips 14A. 14B, 14C.... bumps 16, which are formed on the chips and the bumps 13 on the polyhedron 12 are fused and attached. The chips are arranged on the polyhedron, whose shape is close to a spherical surface, and the chips are wired by straight line wires. Therefore, the wiring length becomes short in comparison with the total area of an LSI, and the propagation time of a signal becomes short.



SEMICONDUCTOR DEVICE

(11) 61-99362 (A)

(43) 17.5.1986 (19) JP

(21) Appl. No. 59-221525

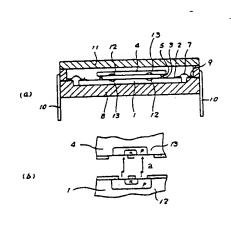
(22) 22.10.1984

(71) FUJITSU LTD (72) SHINJI EMORI

(51) Int. Cl⁴. H01L25/04

PURPOSE: To increase freedom in design, by laminating a plurality of semiconductor chips so that their surfaces face to each other, performing the signal transmission between the chips by light signals between the surface, thereby reducing the area of a light receiving signal, implementing high integration, and potentially isolating the chips.

CONSTITUTION: A first chip 1 is mounted on a package 8. A second chip 4 is mounted on the chip 1 with a face down. Bumps 3 and 5 are welded and both chips are wired for current conduction. Then a pad 2 at the peripheral part of the first chip 1 and an inner lead 9, which is formed on the package 8, are bonded by a wire 7. The inner lead 9 is connected to an outer lead 10. The transmission and exchange of signals between the chip are performed by light by using a light emitting element 12 and a light receiving element 13. The first chip 1 constitutes a low speed part and a power source circuit. The second chip 4 constitutes a high speed part. The chip 4 sends and receives the signals to and from the first chip 1 by light. Thus, two chips can be formed by the area for one chip. The area for signal transmission means between the chips can be made smaller than the pad or bumps. The potential between the chips can be freely selected.



a: light

(54) SUBSTRATE-POTENTIAL GENERATING CIRCUIT

(11) 61-99363 (A)

(43) 17.5.1986 (19) JP

(21) Appl. No. 59-220906

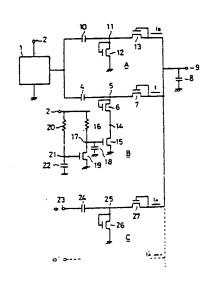
(22) 19.10.1984

(71) MITSUBISHI ELECTRIC CORP (72) YOICHI HIDA

(51) Int. Cl4. H01L27/04, H01L27/10

PURPOSE: To reduce power consumption of an integrated circuit, by providing the first - third circuits, which supply bias currents to a substrate separately at the time of applying power, at the time of operation and at the time of

CONSTITUTION: When a power source voltage Vcc is applied at a time t_{o} , the voltage at a power source terminal 2 is increased to the power source voltage Vcc. a pulse generating circuit 1 is operated and the pulse is supplied to an output terminal 3. A first circuit A is operated by the pulse and a substrate bias current Is flows. When the magnitude of the value of a capacitor C10 is adjusted, the substrate bias current Is can be changed. A second circuit B is a circuit, which supplies a substrate bias current I only when the power source voltage Vcc is applied. Nodes 17 and 21 are charged toward a level "1." A parasitic capacity 18 is set so that it is smaller tan the value of a capacitor 22. The node 17 is charged faster than the node 21. A pulse signal ϕ is applied to a third circuit C when the chip is operated. Therefore a required current $I_{\rm A}$ is made to flow so as to compensate for the decrease in substrate potential. Thus the low consumption can be realized in charging the current to the substrate.



⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-99362

Mint Cl.4

證別記号

庁内整理番号 7638-5F

④公開 昭和61年(1986)5月17日

H 01 L 25/04

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

半導体装置 の発明の名称

> 頤 昭59-221525 到特

頤 昭59(1984)10月22日 ②出

伸二 ⑫発 明 者

川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

富士通株式会社 ①出 願 人

川崎市中原区上小田中1015番地

弁理士 松岡 宏四郎 70代 理 人

明

1. 発明の名称

半導体装置

2. 特許請求の範囲

複数個の半導体チップをその表面が対向するよ う積み重ね、チップ間の信号伝送を該表面間での 光信号で行う手段を有することを特徴とする半導 体装置.

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は複数個の半導体チップを結合してなる 半導体装置に関する.

大規模集積回路(LSI)の高機能化、高集積 化により、近年各種機能の回路を同一しSI内に 構成する場合が多くなってきた。例えばCMOS とTTL、またはアナログとCMOSのディジタ ル、さらにインタフェイス回路を設けてCMOS とECL等の構成を有するLSIの要求に対し、 同一チップ内に構成することは困難である。無理 をして強行しても製造工程上、またその歩留りの 上からも極めて不利である。

従って回路機能別に独立のチップを用いれば、 それぞれに最適なプロセスが適用でき、各機能毎 の特徴が生かせることになり、そのため複数個の チップを結合してなるLSIが検討されるように

この場合LSIは、有効なチップ間結合手段が 必要になる。

〔従来の技術〕

第2図は従来例による2個のチップよりなるL SIの断面図である。

図においてミパッケージ8の上に第1のチップ 1 を搭載し、その上に第2のチップ 4 をフェイス アップに酸せ、パッド(ポンディングするための 接続端子) 3、 5 をワイヤ 6 でポンディングして 両チップを結線する。つぎに第1のチップ1の同 辺のパッド2と、パッケージ8にメタライズして 形成された内部リード9とをワイヤフでポンディ ングする。内部リード9はパッケージの外部リー ド10に接続されている。11はパッケージの蓋を示 す。

この例では両チップの結線をパッド間のワイヤボンディングで行ったが、第1のチップ1の上に第2のチップ4をフェイスグウンに載せ、バンプ(隆起した接続端子)、ピームリードを用いて行う場合もある。

(発明が解決しようとする問題点)

従来例によるチップ間の結合は、パッドまたは バンプ等を結線して行うため大きな面積を必要と した。

チップ間は電気的に接続されるため、各チップの電位を自由に設定できない。インタフェイスは例えば信号を送る方のチップのレベルがTTLの場合は、受ける方のチップのレベルもTTLでなければならない。

(問題点を解決するための手段)

上記問題点の解決は、複数個の半導体チップを その表面が対向するよう積み重ね、チップ間の信 号伝送を該表面間での光信号で行う手段を有する 本発明による半導体装置により達成される。

ここでチップ間の信号の伝递、交換は発光素子12と受光素子13により光で行う。第1図向に示されるように発光素子12としてエミッターベース間のプレークダウン発光を用いたトランジスタを、受光素子13としてベース開放のフォトトランジスタを用いる。

第1のチップ 1は、珪森(Si)を用い低速部と電源回路を形成する。

第2のチップ4は、ガリウム砒素(GaAs)を用い高速部を形成し、ここである程度まとまった処理-を済ませ、結果的に遅い信号授受でよいような構成にして、光により第1のチップ1と信号授受を行う。

例えば第2のチップ4はプロセッサを構成し、 内部は回路を簡単化するため1ビットの演算器に する。しかし出力はパラレルになるようにインタ フェイスを考慮すればよい。しかし第2のチップ 4は高価であるためパラレル処理の回路をチップ に入れるとチップサイズは大きくなり、歩留りが 低下する。

(作用)

各チップに設ける発、受光素子の面積はパッド やパンプより小さい面積で形成でき、高集積化が 可能となる。

またチップ間の信号伝送を光信号で行うため、チップ間は電位的に分離され、設計の自由度が増す。

(実施例)

第1図(a)、(b) はそれぞれ本発明による2個のチップよりなるLSIの断面図、光伝送部を拡大した断面図である。

図において、パッケージ 8 の上に第 1 のチップ 1 を搭載し、その上に第 2 のチップ 4 をフェイス グウンに載せ、パンプ 3 、 5 を熔着して ランに 職で で で で で で で が な が な が な が な が な か と と 、 パッケージ 8 に メクライズ して 形成 さ れ た 内 部 リード 9 は パッケージ の外 部 リード 10 に 接続 さ れ て い る 。 11 は パッケージの 変を 示す。

ここでは1ビットを直列処理する簡単な回路に したため、その高速性を生かしてビットを小さく 落とした演算処理をして、結果だけを光でやりと りをする。

以上のようにシリアルに処理したデータをパラ レルに出すような構成に適している。

(発明の効果)

以上説明したように本発明によれば、

- i. チップ2個を1チップ分の面積で構成できる。
- ii. 各チップは異なるテクノロジのLSIで構成できる。
- iii. チップ間の信号の伝達手段に要する面積はパッドまたはパンプより小さくてすむ。
- iv.チップ間の電位は自由に選択できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)、(b) はそれぞれ本発明による2個のチップよりなるLSIの断面図、光伝送部を拡大した断面図である。

第2図は従来例による2個のチップよりなるL SIの断面図である。 図において、

1は第1のチップ、 2はパッド、

3. 5はパンプ、 4は第2のチップ、

6. 7はワイヤ、 8はパッケージ、

9 は内部リード、 10 は外部リード、

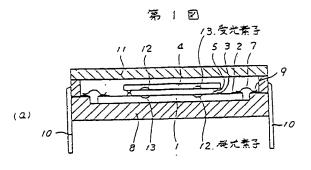
11は蓋、 12は発光素子、

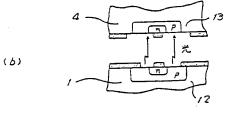
13は受光景子

を示す。

代理人 弁理士 松岡宏四郎







第2 図

